

報道関係者各位

2017年1月26日
ブッキング・ドットコム・ジャパン株式会社

世界で3割のビジネスマンが、「出張の機会が多い仕事なら、 今より給与が低くても構わない」と回答 日本では、わずか1割と他国との意識差が顕著に

[2017年1月26日:日本発表] 世界最大のオンライン宿泊予約サイト Booking.com (ブッキング・ドットコム) の日本法人 ブッキング・ドットコム・ジャパン株式会社(本社:東京都港区 代表:アダム・ブラウンステイン以下:ブッキング・ドットコム)は、ビジネス旅行者の出張に関する調査を発表しました。



本調査は、ブッキング・ドットコムが2016年9月に13の国(オーストラリア、ブラジル、デンマーク、スペイン、フランス、インド、イタリア、日本、ニュージーランド、タイ、イギリス、アメリカ、スイス)を対象に実施した調査「2017年の旅行トレンド」(回答者数12,781名)に基づきます。回答者は18歳以上で、2016年に1回以上旅行をし、2017年に1回以上旅行を計画、さらに旅行計画時のプランニングに関わっている旅行者に限られます。

この調査によると、「出張の機会が多い仕事なら、今より給与が低くても構わない」という世界のビジネス旅行者が30%にも上ることが明らかになりました。これは、企業の上層部が社員の出張の価値を過小評価している可能性を示唆しています。社員との給与交渉の切り札やモチベーションや社員維持を高めるツールとして、出張はもっと評価されるべきものかもしれません。一方日本人は、「出張の機会が多い仕事なら、今より給与が低くても構わない」と答える人は世界でも最低の10%と、日本人にとっては、給与の方が出張の機会を得ることよりも重要であることがわかります。

今回の調査結果は、ビジネスマンにとって出張とレジャーの境界が曖昧になりつつあるという、大きなトレンドを反映しています。過去1年間で、世界のビジネスマンの半数近くの49%が、出張期間を延長し異なる都市や国を旅行し、そのうち27%のビジネスマンが、2017年も同じように出張期間の延長を計画していると回答しています。また、回答者の46%が2017年は2016年よりも出張の機会が増えると思うと回答しており、今年も引き続き、ビジネスマンが出張を延長する傾向が見られると予測しています。それに対し日本では、異なる都市や国を旅行するために出張期間を延長すると答えた人は、わずか22%と世界で最も低い数値となっており、また2017年よりも出張の機会が増えると思うと回答した人は、最高数値であるアメリカの61%に比べ、わずか18%と断崖に低い結果となりました。

ブッキング・ドットコム・ビジネスの製品開発ディレクターであるリプシー・バンドリアンは次のように述べています。「出張はもはや時間のロスや業務上やむを得ないものではなく、会社員が新たな可能性を模索し、キャリア

ア形成を促す機会と見なされつつあります。新世代のビジネスマンには『ラップトップ&ラテ』と呼ばれ、出張にレジャーを取り込む『プレジャー(ビジネス+レジャー)』旅行が注目されています。」

バンドリアンはさらに続けます。「より大きな流動性と柔軟性を求めるビジネスマンは、企業がそのニーズを提供することを期待し、出張のためならば上司に給与交渉をすることを考えています。だからこそ、ブッキング・ドットコム・ビジネスはビジネス旅行者に様々なタイプの施設を提供し、シンプルかつスマートに、最も満足できる方法で施設を見つけ、出張を管理し、楽しめるように力を入れています」

ビジネス旅行者の傾向の変化に企業がついていけるよう、ブッキング・ドットコム・ビジネスはビジネス旅行者の出張までの一連の傾向を明らかにし、ますます活発になっているビジネスマンへの対応に役立つヒントをまとめました。

新たな行き先を開拓

世界のビジネス旅行者のうち 55%の人は、出張は楽しいと回答する中で、隠れた名所とも言える、プラハ、ブダペスト、広州などを選択しており、これらの目的地が新しいタイプのビジネス旅行者の出張を延長する機会を促しています。彼らは、街を探索し、オフィスを離れて過ごす時間を有効活用しているのです。ブッキング・ドットコム・ビジネスで、過去1年間の予約数の増加に基づいた、ビジネス旅行者の間で人気急騰している出張先都市のトップ10は以下のとおりです。

人気急騰している出張先トップ10			
1	上海	6	ブダペスト
2	東京	7	シンガポール
3	バンコク	8	香港
4	広州	9	プラハ
5	ニューヨーク	10	アムステルダム

時間のロスに不満

時間のロスは現代のビジネス旅行者にとって大きな業務の妨げです。ブッキング・ドットコム・ビジネスの調査によると、62%の人が初めて訪れる都市ではできるだけ多く活動したいと回答しています。日本人は世界に比べ 22%低いものの、40%の人はできるだけ多く活動したいと回答しています。移動時間を最小限に抑え、その都市の雰囲気にはできるだけ長く触れることが、彼らにとってとても重要です。こうしたビジネス旅行者のニーズに応じて、ブッキング・ドットコム・ビジネスは、世界各国の中でも特に出張者が多い 20 都市を対象に、着陸から市内中心部にある宿泊先までの平均所要時間をまとめました。上位 5 都市は以下のとおりです。



市内中心部の宿泊施設に最短で移動可能な出張先の空港トップ5 ii		
1	シンガポール・チャンギ国際空港	46分
2	ミュンヘン国際空港(フランツ・ヨーゼフ・シュトラウス空港)	47分
3	バンコク・スワンナプーム国際空港	54分
4	マドリッド・バラハス国際空港	57分
5	ベルリン・テーゲル空港	58分

飛び回る世代

22 の国と地域を対象に実施し、44,878 名が回答した調査「This is Travel」に基づくと、新しいタイプのビジネス旅行者に見られる特徴として、旅行の直前に予約をしたり計画を変更したりする傾向が挙げられます。国内出張の場合、出張する人の 23%が 1 週間前に予約し、海外出張の場合は 24%が出発の 4 週間前以降に予約すると回答しています。日本はデンマーク、イギリスの 11%に続いて低く、13%が 1 週間前に予約し、海外出張の場合、世界で最低 10%が出発の 4 週間前以降に予約すると回答しています。

バンドリアンはさらに次のように述べております。「出張を典型的な業務モデルに当てはめる考え方では、もはや新しいタイプのビジネスマンに対応できません。企業側は出張規定を柔軟に組み込む必要があります。例えば、新しい出張先を探る、テクノロジーやアプリを活用して出張体験をさらにスムーズなものにする、ヴィラやホームステイなど様々な滞在場所を試すといったことが考えられます。あるいは、ビジネスマンが旅程を自由に計画・予約し、自ら管理できるようにする必要もあるでしょう。そうすれば、ビジネスマンの満足度も上がり、その結果、社外から才能ある人材を引き入れることができるようになります。」

i 2015 年 11 月～2016 年 11 月の間のビジネスユーザーによる予約から、前年比成長率が最も高い目的地を抽出したデータです。

ii 到着ゲートから空港出口までの移動時間は平均時間です。実際の所要時間は到着ゲート、国際線/国内線、到着時間帯など諸条件により異なる場合があります。データは空港の公式ウェブサイトや利用者による情報サイトから Booking.com for Business が収集しました。各目的地の空港から市内中心部までの所要時間は Google マップを参照したものです。

日本におけるブッキング・ドットコム

2009 年に渋谷に最初のオフィスを開業。現在約 330 名の従業員が日本国内のオフィスで働いており、内 190 名がインハウスのカスタマーサービスのスタッフです。国内に、6 つのオフィス(東京に 2ヶ所、大阪、福岡、札幌、沖縄)があります。現在、国内では約 1,000 軒以上の宿泊施設の予約が可能(2016 年 12 月時点)です。

Booking.com(ブッキング・ドットコム)について

ブッキング・ドットコムは、ホテルをはじめとする様々な宿泊施設のオンライン予約における世界的なリーダーです。独立系の小規模宿泊施設から 5 つ星の豪華ホテルまで、お客様の旅行スタイルやニーズに合った宿泊施設を、最安値保証かつ予約手数料無料でご提供しています。当社の予約サイトは、40 以上の言語に対応しており、パソコン、スマートフォン、タブレットなど様々なデジタル機器からいつでもどこでもアクセス可能で、227 の国と地域、9 万 6,000 ヶ所以上の目的地、そして 110 万軒以上の宿泊施設(うち約 52 万軒は長期滞在型宿泊施設)の宿泊予約が可能です。また、実際に宿泊施設に泊まったユーザーだけが投稿できるクチコミを 1 億 1000 万件以上掲載しており、観光・レジャー、ビジネスでのご利用と幅広いお客様のニーズに対応する宿泊予約サイトです。19 年を超える経験をもとに、世界各国・184 のオフィス、1 万 3,000 名以上の社員、日本語を含む多言語で対応する 24 時間対応のカスタマーサービスが、お客様に最高の宿泊体験を提供するべく日々努力しています。

1996 年に設立した、Booking.com B.V.は Booking.com™(<http://www.booking.com>)の運営会社で、The Priceline Group(NASDAQ: PCLN)グループのメンバーです。さらに詳しい情報は、<http://www.booking.com> をご参照ください。また、Twitter、Instagram、Facebook、Pinterest の公式アカウントを開業しています。

ブッキング・ドットコム・ビジネスについて

ブッキング・ドットコム・ビジネスは、ビジネス旅行の手配担当者やビジネス旅行者を対象に特別に作られたサービスで、最も簡単に、最もスマートに、最も価値の高い方法でビジネス旅行の手配と管理をスムーズに行うことができます。ブッキング・ドットコムで手配される予約のうち、ビジネス目的の予約は 5 件に 1 件を超えています。ビジネス旅行向けに機能を強化したブッキング・ドットコム・ビジネスは、ビジネスでよく利用される場所を重点的に取り扱っており、広範なレビューデータが反映されているため、ビジネス旅行者が実際に利用して良さを認めた施設を簡単に見つけることができます。また、ブッキング・ドットコム・ビジネスが提供する無料ツールを使えば、旅行者に代わって出張管理者やアシスタントが予約をすることもできます。ブッキング・ドットコム・ビジネスは、企業の出張で特に必要となる要件を満たせるような高度な機能やレポート作成機能を備えたプラットフォームです。すべてのビジネス旅行者は、どこへ出張することになってもブッキング・ドットコムと同じように簡単に、そして安心して予約をすることができます。